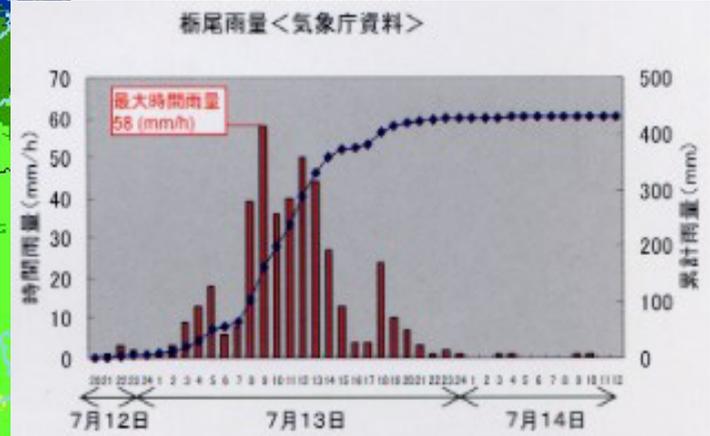
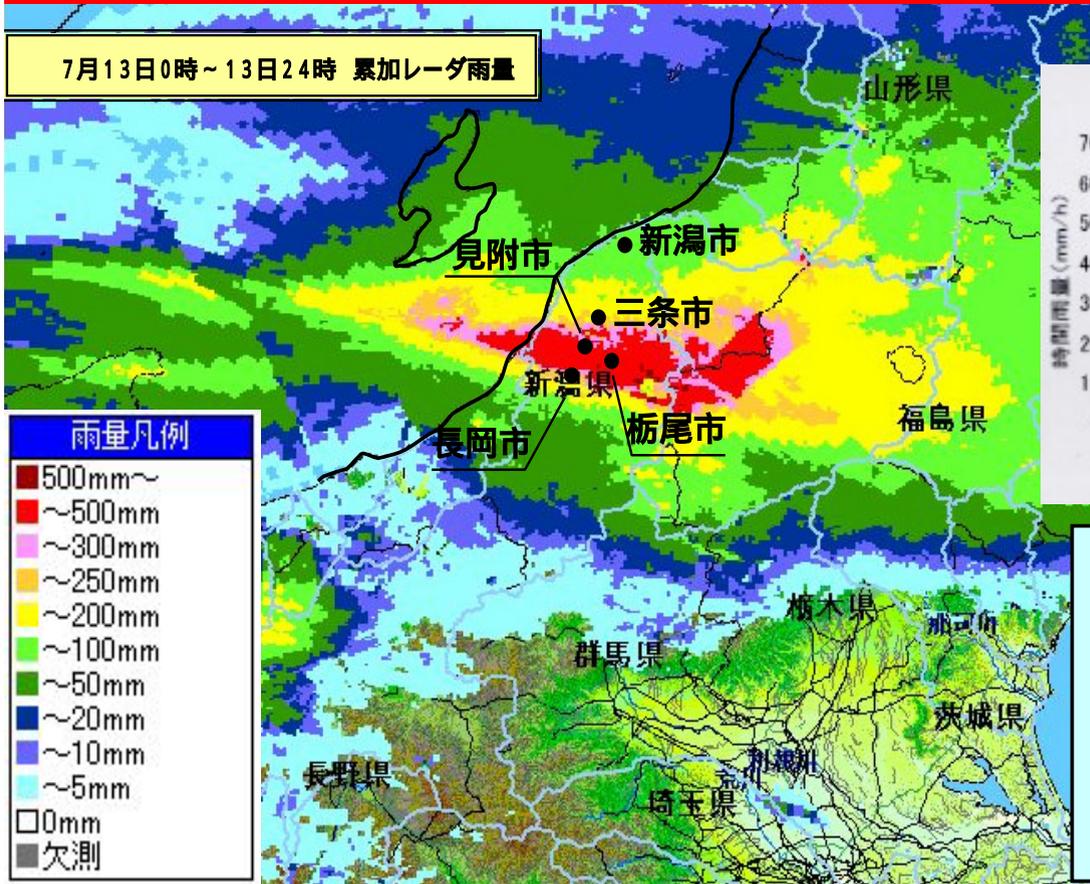


平成16年7月12日深夜から13日にかけて、梅雨前線の停滞により総雨量431mm(栃尾観測所)におよぶ記録的な集中豪雨となり、この降雨により五十嵐川、刈谷田川等、新潟県内の補助河川6河川の堤防が11箇所で堤壊し、死者16名の人的被害と約8,400戸の浸水家屋を発生させる大惨事となった。

たった1日間で、平年の7月の1ヶ月分を大きく上回る降雨。



降雨のデータ

栃尾観測所日雨量421mm
 観測史上最大(2位:S36.8.の1.2倍)
 7月平年243mmの1.7倍
 信濃川下流流域平均2日雨量270mm
 S53.6:335mmに次ぐ戦後第2位。
 降雨確率1/150に相当。